ぜんせき THE ZENSEKI

第8006号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

10月11日（金曜日）　2019年（令和元年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

政策環境部会

犯罪防止へ法制化も
携行缶販売 消防と意見交換

全石連政策・環境部会（出光泰典部会長）は8日、会合を開き、36人の命が奪われた京都アニメーション（京都市伏見区）の放火爆発火災を受けた、ガソリンの携行缶への詰替販売に係る法制化の動きについて、総務省消防庁危険物保安室の渡辺剛英室長と竹本吉利課長補佐と意見交換した（写真）。

消防庁では現在、事件後に同庁などからの要請に基づきSS店頭で行っている①購入者の本人確認②使用目的の確認③販売記録の作成―などの法制化を検討している。

委員からは顧客の本人確認の方法や個人情報の取り扱いとその管理の仕方、使用目的の確認や販売記録の作成など、具体的なSS店頭での運用上の問題点や懸念事項などについて質した。

そのうえで、「消防庁の法制化・運用指針において、SS側のやるべきことに裁量の余地がないよう明確にすべき」や「SS従業員に過度な負担がかからないようにしてもらいたい」などを強く要望した。

また、「販売する側を規制するだけでなく、購入する側も規制する必要があるのではないか。犯罪を予防するには全体的に取り組んでいく必要がある」と、事件の予防に向けては、販売・購入の両面からの対策の必要性を訴えた。

さらに、ホームセンターやネット通販で販売されているガソリンが主成分となっている混合燃料の販売等についても、事件予防の観点から早急な対策の必要があるとの認識が示された。

出光部会長は「SS業界としては事件の抑止のために一生懸命に取り組んでいく」と強調したうえで、「目的は事件の予防であるはずで、そのためには、販売・購入の両面からの対策が必要であり、ホームセンターやネット通販でもガソリンと類似の商品が売られていることへの対応も行うべきである」と指摘した。

これに対して、消防庁は「規制の対象を広げていくことは、国民全体への影響が大きいことも考慮し、さらに慎重な検討が必要だと思っている。ご指摘の討点も踏まえ引き続き検討していきたい」と述べた。

船舶用重油規制強化
品確法改正 硫黄分は0.5%以下
エネ庁

資源エネルギー庁は8日、「揮発油等の品質の確保等に関する法律（品確法）」の一部を改正する省令案について、パブリックコメントを発出した。来月6日まで意見を募る。

2016年10月に海洋汚染防止条約（マルポール条約）の規定を策定する国際海事機関（IMO）において、来年1月から船舶用重油の硫黄分濃度の上限値が現行の3・5%から0・5%に引き下げられることが決定したため、それに対応して、船舶用重油の法定規格（重油規格）を定める品確法の改正を実施するもの。現在、3・5%以下と規定されている硫黄分に関する重油規格を0・5%以下に改正する。11月下旬にも公布、来年1月1日に施行される。

これに加えて特則も創設する。マルポール条約において、排ガス洗浄装置（スクラバー）を設置した船舶については、硫黄分規制は適用されないため、スクラバー設置船への燃料供給に係る重油規則の特則を新たに創設。硫黄分規制から外れるスクラバー設置船を確認するため、船舶用燃料の販売業者は船舶に設置されている「海洋汚染等防止手帳」などの書面を確認することとした。一方、同条約では、必要な措置を講じても硫黄分規制値を満たす重油（基準適合燃料）を入手できなかった船舶については、基準適合燃料の使用を一時的に免除される規定があることから、基準適合燃料の使用を免除された船舶に対し、販売業者が燃料を供給できる特則も設けた。

道議団（左側）に官公需問題の改善を訴える河辺副会長

北石連
理不尽な入札是正を
自民道議に窮状訴える

【札幌】北石連（伊藤豊会長）の河辺善一副会長（道石油政治連盟会長）と前川正一専務理事は7日、自民党道連が道議会庁舎で開いた「団体政策懇談会」に出席し、官公需問題について要望した。

自民党からは田中芳憲道連政調会長はじめ道議会議員11人が出席した懇談会で、北石連執行部がこうした会議で道議団に業界の窮状を直接訴えるのは今回が初めて。

河辺副会長はまず、昨年の胆振東部地震とそれに伴うブラックアウトで各地の組合員SSが的確に災害対応したことを強調。そのうえで官公需問題に言及し、「日ごろ付き合いのない中で、災害時だけ燃料を持って来いと言われるのは理不尽」と述べ、平時からの調達の実現に向けて協力を求めた。

引き続き、前川専務が胆振東部地震での石油販売業界の対応を詳しく説明し、全国各地の石油組合が自治体などと取り組んでいる官公需関係の好事例を紹介。さらに、教育局関係などの一般入札で地元外業者が落札するケースが相次ぐなどといった道内での官公需の実態と課題を説明したうえで「SSが地域の防災拠点としての役割を果たしていくためにも、災害協定に参加している組合員の受注機会確保について特段の対応を願いたい」と要請した。

松浦石油流通課長㊨が台風15号対応で矢島理事長を表敬訪問し、安定供給体制の強化策等を意見交換した

京東
千葉停電支援へ謝意
矢島理事長と松浦課長懇談

資源エネルギー庁石油流通課の松浦哲哉課長は7日、永田町・石油会館の東京石商を訪れて矢島幹也理事長と会い、台風15号による災害対応の一環として、同石商が保有していた〝緊急用可搬式バッテリー計量機〟4台をタツノのサポートを得ながら迅速に千葉県の停電地域に貸し出し、現地SSの供給体制を応援したことに謝意を述べた。

松浦課長は、被災地の状況を踏まえた緊急措置として「お借りした緊急用計量機が現地で大活躍した。台風や地震等による停電はどこでも起こりうるので、全国的に対応力を強化しておく必要がある」との考えを示唆。これに対し矢島理事長も「前々から、バッテリー式計量機は有効と評価していた。いつ東京にも災難が降りかかるかわからない。やはり事前準備が重要」と応じ、相互連携しながら首都・東京の災害対応力強化を進めていくことを確認し合った。

同石商では都心部と多摩、その中間地点の組合員SSに協力を得て〝緊急用可搬式バッテリー計量機〟を分散配備するなど、円滑な供給支援体制の構築に努めている。

これに対し、田中政調会長は災害協定と官公需がセットになった仕組みについて「理解した」と述べ、「それぞれの議員がこの要請を地元に持ち帰り、議論のベースに活用していきたい」と今後の検討を約束した。

JXTG出光昭シ
全油種2～2.5円安
レギュラー小売2.7円高148・1円

JXTGエネルギーは10日からの基準仕切りを通知した。特約店によると、前週比で全油種2・5円の値下げとした。値下げは2週連続、累計5・5円安。

出光昭和シェルは10日からの仕切り改定幅を通知したが、販売店によると、前週比で全油種2円の値下げとした。値下げは2週連続、累計5円安。

資源エネルギー庁による小売価格調査（7日・消費税込み・前週値8%換算比較）レギュラー全国平均は前週比2・7円高の148・1円と3週連続で値上がりした。

地域別では、4・7円高の岡山、4・3円高の愛媛、3・7円高の広島など全47都道府県で値上がりとなった。

ハイオクは2・6円高の158・9円。軽油は2・0円高の128・5円。灯油は18ℓ店頭が28円高の165円、配達は29円高の1814円。（2面にDATA）

石連週報 10月1週
ガソリン出荷反動減!?

石連週報による10月第1週（9月29日～10月5日）のガソリン出荷量は、前週比11・1%減、前年比14・0%減の78・8万㌔ℓと、4週ぶりに前年実績を下回った。また過去5年平均比でも13・7%減と2週連続で不振が続いている。一方で生産量は2・0%増、22・7%増の95万㌔ℓと2週ぶりに増加した。在庫は6・0%増、9・7%増の159・2万㌔ℓと4週ぶりに積み増した。

軽油出荷量は前週比14・5%増、前年比52・9%減の13・2万㌔ℓと2週連続で不調。在庫も1・5%減、4・1%減の142・6万㌔ℓと4週連続で取り崩した。

灯油出荷量は前週比14・5%増、前年比52・2%減の254・3万㌔ℓと2週ぶりに取り崩した。（2面にDATA）

論説
2年前の経験を活かすとき

今月から始まった消費税増税。キャッシュレスポイント還元など新たな対応に迫られる中で、見過ごせないのは需要がどのように変化しているのか、反動減販の有無を含め今年度後半期市場動向の行方だ。4月以降、前半期のSSをめぐる需給は、明らかに需要減少、とりわけ商戦期と言われる特需の時期に期待を裏切られた。5月の大型連休商戦、7月からの夏場商戦、8月の旧盆商戦と増販をしたい時期に減販を余儀なくされたSSが全国的に大勢であった。天候不順が主な原因とみられるが、SSの経営を苦しめたのはそれだけではないようだ。

2017年のJXTG誕生から、劇的にSSの収益性が向上したのが10月以降だった。それまで系列と非系列の仕入れをはじめとして、様々な格差が石油販売業界の長年の課題だったが、需給適正化への道が開けたことにより、一気に是正へと向かい始めた。SSはそれまでの低マージン体質を脱却したかにみえたのが、ちょうど2年前だ。若手経営者からは「SSを経営して初めての手応え」との声が聞かれたのもこの時期だった。

その後も需給適正化という道は確実に前に進んでいるのは確かだろう。かつて猛威を振るった広域PB業者も含め、確実にコスト意識に基づいた値付けが行われるようになった。いまだに拡販姿勢を崩さないPBSSもあるが、かつてのように一般SSと比べ、ガソリン価格が30円も異なることはなくなった。言うまでもなく、業転の価格差がほぼブランド料の「ﾚｯﾄﾞ3円程度」にまで縮小した状態が続いているからだ。2年前の状態が続いていたならば、経営者の減販に対する意識も変わっていたのかもしれない。少なくとも売ることよりも、一定の粗利を確実に確保することに傾注したはず。それが天候不順にも負けない経営体質になっていればとも思える。

消費税増税時は大幅な仕切り値上げが重なり、SSを巡る状況は厳しいものがあった。その後仕切りは下落に転じているが、増税後の反動減販を懸念する声は強い。だが、わずか2年前に経験したあの自信にみなぎった経営感覚が、いま必要なのだろう。需要動向に惑わされず、適正利益の確保と減販に負けない勇気を持って今年度報半期を迎えてもらいたい。業転市場もあの時と変わらない。人件費や運賃などコストは上昇していることを忘れてはならない。

今週のガソリン小売市況概況（10月2週）

	全体概況	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	⇑	￥148	￥148	*札幌市・地場・系列*
北東北	⇑	￥147	￥147	秋田市・広域・系列
南東北	⇑	￥148	￥148	*仙台市・広域・系列*
信越	⇑	￥144	￥144	新潟市・地場・系列
北関東	⇑	￥135	￥135	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	⇑	￥133	￥133	印西市・異業種・PB
山静	⇑	￥147	￥147	*静岡市・広域・系列*
東海	⇑	￥138	￥135	鈴鹿市・広域・系列
北陸	⇑	￥138	￥134	福井市・地場・系列
京阪	⇑	￥145	￥145	八尾市・地場・系列
阪神	⇑	￥145	￥145	神戸市・地場・系列
山陽	⇑	￥148	￥148	岡山市・地場・系列
山陰	⇑	￥148	￥146	*米子市・地場・系列*
四国	⇑	￥149	￥149	*高松市・地場・系列*
九州北	⇑	￥151	￥151	*福岡市・地場・系列*
九州中	⇑	￥144	￥144	熊本市・広域・PB
九州南	⇑	￥155	￥155	宮崎市・地場・PB

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

エネ庁・15日情報収集訓練
災害備え7800SS参加

資源エネルギー庁は15日に全石連や都道府県石油組合、元売各社などと連携して、第5回目となる『災害時情報収集システム』の稼働訓練を実施する。全国47都道府県の中核SS、小口燃料配送拠点、住民拠点SSに加え、緊急配送用タンクローリー補助やPOS導入補助など国の補助事業を活用し、災害時の機動的な燃料配送体制の強化、営業情報などの効率的な収集・発信体制を整備に取り組んだSSなど約7800ヵ所を対象に、営業状況や燃料の在庫状況などを返信してもらい、エネ庁に情報を集約する。全石連や石油組合、都道府県、石油連盟・元売各社などと情報共有するとともに、地域の稼働SS（住民拠点SS）をホームページなどで公表していくもの。被災地域の住民らに稼働SSに関する情報を周知していくことで、ガソリンのパニックバイの防止のほか、中核SS・小口配送拠点による緊急車両向けの給油や、避難所・病院などへの供給を迅速かつ円滑に行っていく狙いもある。

先般の台風15号による暴風雨災害でも千葉県内を中心に長期間にわたる停電が発生、この間も県内の中核SSや住民拠点SSなどが自家発を稼働させ、燃料供給を継続するなど、発災後のSS営業状況の収集と把握が、その後の迅速かつ的確な燃料供給体制構築に重要な役割を果たすことから、エネ庁では同訓練への積極的な参加を呼びかけている。

報告依頼メールを一斉送信、受信確認メールを返信してもらい、メールの受発信状況などを確認。災害時のエネルギー供給の〝最後の砦〟となるSSの被災・営業状況の情報収集基盤となる同システムが、迅速かつ確実に稼働するかどうかを把握する。

同システムは、震度5強以上の地震（立地地域の震度が5弱以下でも同一都道府県内なら対象）や大津波警報の発令、噴火・台風・洪水・豪雪など大規模災害が発生した直後に、自動的に被災地域の中核SS・小口配送拠点・住民拠点SSに対して、事前に登録しても

きょうの紙面
2面　今週のガソリン市況
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石油週報
3面　東北版・駆け込み需要肩すかし/関東版・福祉車両メンテに注目
4面　トレンドファイル／市況概況

ポンプあいらんど

▼アジア圏で初となるラグビーワールドカップ（W杯）が現在、列島を興奮させている。前回のイングランド大会で強豪南アフリカを破った日本代表チーム。日本ラグビーの「新時代到来」を予告した通り、本大会でも優勝候補であるアイルランドにも打ち勝ち現在3勝。決勝トーナメント進出へ向け王手をかけた▼ラグビーと言えばビール。海外からのファンの消費量は他競技に比べて5～6倍も多いという。スタジアムでは、ビールを求める列が切れず、売り子を取り囲むように飲みながら観戦する場面も目にした。ビールメーカーも「品切れ回避」を合言葉に増産をかけ、対応に努めているようだ▼需要が急増したのは、ビールばかりではない。大会期間中のキャンピングカー（CC）の予約がレンタル会社に殺到。昨年比で海外客の予約は3～5倍、売り上げも上々と報じられた。大会は1ヵ月半にわたり、会場も全国12ヵ所と広範に及ぶ。宿の予約が不要で移動も自由。CCは欧州、豪州では生活に馴染みのあることも利用を後押ししているようだ▼ラグビーW杯の訪日客見込みは50万人。観戦に併せて各地の観光地へも足を延ばすことだろう。クルマでの移動となれば、当然、SSに立ち寄る場面も増える。インバウンド対話シートを用意するなど、事前準備をしっかりして迎えたい。

つぎの未来へ、始動。

変革をおそれず、挑戦する心を忘れず、さらなるエネルギーインフラの未来を切り拓き、
より良い社会づくりに貢献していく。

この決意を新社名とタグラインの「Actuating change（変化を始動する）」に込め、
2019年9月1日より日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社は、
トキコシステムソリューションズ株式会社として新しい未来に向かって歩みはじめます。

TOKICO
Actuating change

トキコシステムソリューションズ株式会社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル　TEL.050-3852-5280　https://www.tokicosys.com/

一部弱含みも小康状態

今週のガソリン市況　10月第2週

札幌　安値量販セルフ　前週比横ばい

三重　一般系列セルフ　2～3円下落

◎北海道…札幌はセルフ146円程度、フル148～9円、安値量販セルフ144・8円表示。旭川はアサヒ商会133・8円、モダ石油など137・8円、セルフ138～143円、フル149～152円に軟化。函館はアサヒ133・8円、モダなど135・8円表示（いずれも実売2円引き）、セルフ136円程度、フル138～141円表示。

◎東北…セルフ価格は、盛岡市で軟化し134～8円。山形市も下値が小幅軟化し138～153円。仙台市は140～8円、青森市は133～144円でともに横ばい。秋田市は147～9円、福島市は149円前後中心で変わらず。

◎北関東…群馬は高崎市でセルフが145円以上。栃木は県北144～6円、県央140～5円、県南も141円前後。茨城はセルフ140円台後半で推移している。

◎首都圏…埼玉はセルフ140円台、千葉もセルフ140円台前半で推移。

◎山静…静岡市はセルフ145～8円前後、県東部143～6円、県西部140～4円前後。山梨は149円前後中心。

◎東海…145円前後で落ち着いていたが徐々に軟化傾向を見せ始め、再び130円台が増加してきた。愛知は常滑のコストコが128円、PBバロンパークと名古屋のPBクイックピット富田はともに現金129円。一般系列セルフは岐阜、三重を含め136～141円と前週より2～3円の値下がり。

◎北陸…コストコ野々市131円、PBカナショク132円、ミタニ系133円に加え、系列量販SSの参戦で石川の価格競争が激化、隣接する富山と福井もその影響を受けつつある。

◎近畿…京阪、阪神地区ともにセルフの平均価格帯は145円前後で前週と変わらず。神戸市以西も動きは見られない。

◎中国…セルフは広島市が144～6円前後、岡山市は146～8円前後、山口市も140～2円前後と横ばい。米子市は2円程度下がり145円前後に。

◎四国…セルフは高知市が156円前後、高松市、徳島市は145円前後と横ばいで推移している。

◎九州…大きな動きはない。福岡中心部は151円前後が大半だが、郊外では147～9円が目立つ。北九州、佐賀もほぼ同じ。宮崎は消費増税による価格改定が進み、商系では155～7円が増加している。熊本では直後はやや落ちた」という声が聞かれたが、大半のSSは「変わらない」という声が目立った。一方、油外は一車検を前倒しで予約するユーザーが多かったため、増税後は落ち込んでいる」と反動減を指摘する量販SSもあった。

ポイント還元事業　トラブル見られず　販売量もほぼ影響なし　神奈川

【横浜】1日から消費増税に伴い、「キャッシュレス・消費者還元事業」が始まった。

各元売も同事業に賛同し、自社発行のハウスカードに限定し、燃料油について2%のポイント還元を実施している。開始前は「SS現場で消費者への告知など事前準備が遅れている」と懸念する声もあったが、いまのところ大きなトラブルはないようだ。

川崎市内のあるSSは「看板は（ポイント還元分を差し引いた価格などではなく）通常価格を表示。レシートには2%をポイント還元する旨を表記している。お客様の認識違いによる問い合わせもなく、問題なく営業できている」と話す。別のSSは「今回は2%の増税なので、還元事業も含めてお客様の関心が低い気がする」と感想を口にする。

「2%還元」をPRするポスターについては、サービスルームなどに貼っているSSと特にアピールしていないSSに分かれた。貼っていないSSに理由を聞くと、「貼るスペースがない」「元売から届いているが、まだ貼っていない」という反応が多かった。

増税後の燃料油の販売量は、24時間営業のセルフSSで「（増税前の）駆け込み需要が若干あったぶん、増税直後はやや落ちた」という声が聞かれたが、大半のSSは「変わらない」という声が目立った。一方、油外は一車

不当要求防止対策研修会　記録残し、組織で対応　東京・第4部・東方面支部

東京石商第4方面支部（加藤護支部長）はこのほど、警視庁八王子警察署の協力を得て『不当要求防止対策研修会』を開き、防犯力の向上を図るとともに、安全安心な地域づくりに協働していくことを確認し合った。

同署・刑事組織犯罪対策課暴力団対策係の淵元仁係長が講師を務め、暴力団情勢を説明後、VTR『初めての不当要求対応～電話編』を活用しながら、①苦情が不当要求に変わる事例②対応者が困る事例③会社にかかってくる迷惑電話―の具体的な対応方法を解説。

そのうえで「不当要求とは、正当性に欠ける一切の要求。要求の内容、根拠、方法の正当性が社会的に度を越していないか。いろいろと言ってくるので、レコーダーを用いるなどやり取りの記録を残し、事実関係をはっきりさせることが重要。具体的な要求がわからない場合は、金銭支払いか別の行為かを特定する。その際のポイントは、ほかの客に同じ要求をされたら、同じように対応できるか」、「反社会勢力は遊び上手、物知りでおもしろく、おごってくれたりすることも少なくないが、いつの間にか個人情報を入手され、少しずつ利益供与を迫られ、身動きが取れなくなる」などと注意喚起した。また「もし落ち度があったとしても、責任の範囲を越えれば不当要求。ていねいに対応しつつも、相手を納得させる必要はなく、不当要求を拒絶することが大事」「相手の呼び出しには応じないこと。単独で行動・対応せず、問題を共有し、窓口を一本化する」「即答は避ける」「悪い報告ほど素早く行う」などと助言。

一方で犯罪が巧妙化・潜在化していることから「些細なことでも、皆さんからの情報が重要なので、最寄りの警察に連絡してほしい。逆に、なにかあれば気軽に相談してほしい」と呼びかけた。

具体的な対処方法を学び、防犯力向上に努めた

静岡西部会　補助事業進捗など確認

【磐田＝静岡】静岡石商西部会（久野広滋部会長）は8日に磐田市内で会合を開き（写真）、2019年度補助事業の申請状況や報告期限などについて説明したほか、千葉県を襲った台風15号の被害状況や現地SSの災害対応について確認した。

また8月7日に総務省消防庁が「SSにおける指定数量（200㍗）以上のガソリン携行缶への詰替販売について、条件付きで販売を認める」と発表したことに関して、全石連を通じて消防庁に詳細を再確認。「法的に可能と改正された訳ではなく、基本的には販売を認めていない。実際の状況を鑑みたうえで、最終的には各地区の消防の判断に任せている」と回答があったことを報告した。

これに対し、出席した部会員からは「市の消防に確認したが、一切認めないと断言された」「判断基準の線引きがあいまいだ」などの声が聞かれた。

茨城・関彰商事　スポーツ大会出場社員を激励

SSで前柳選手㊧を激励する関社長

今月12～14日に茨城県で開催される「いきいき茨城ゆめ大会・第19回全国障がい者スポーツ大会」に、関彰商事（本社・茨城県筑西市、つくば市、関正樹社長・JXTG系）のグループ社員3人が出場することが決定。

これを受け、関社長は4日に前柳光平選手（サッカー茨城県代表）が勤務するアドバンスカーライフサービス・Dr.Driveセルフつくば研究学園店を訪問。同大会での活躍を祈念して、固い握手を交わして激励した。

前柳選手は2013年の東京大会でも茨城県代表として出場しており、準優勝の成績を収めている。

生活、産業、地域を支える　石油の力SSの力　沖縄県うるま市 ▶vol.346◀

防油堤一体型　地上タンク

高い災害耐久性、離島導入事例も

沖縄県うるま市に本社を置くコンボルト・ジャパン（島袋修社長）は、国内初の防油堤一体型の屋外貯蔵タンクを製造し、全国展開している。最近、特に「環境にやさしい次世代型燃料タンク」として注目されている。

同社は沖縄県が地域経済の自立・発展の基盤強化を図る目的で設けた特別自由貿易地域に立地し、米国コンボルト社が開発した米国安全規格の認定品である『コンボルト型屋外貯蔵タンク』の日本での独占製造・販売のライセンスを取得して2003年に事業を開始した。

鋼鉄製のタンクを耐油性のあるシートで包むなど、徹底的に漏油を防止する構造になっている。耐熱・耐火はもちろん衝撃にも強く、至近距離からライフル銃で撃っても貫通しないほどの強度を持っている。

当初は在日米軍基地を中心に販売していたが、09年に危険物保安技術協会（KHK）の性能評価委員会で、国内初の「防油堤と同等の機能を有したタンク」として評価を受け、防油堤を設置しなくても販売が可能になった。危険物の漏洩拡散対策だけでなく、火災、地震、台風、洪水など自然災害時には従来型タンクに比べて強固で、二次災害防止にも有効であることが、すでに米国でも立証されている。日本でも沿岸部の塩害にも強く、地震・津波対策にも優れていることが評価されている。

また、従来の消防法では自家用給油所の燃料タンクは地下埋設型が義務付けされていたが、15年には地下タンク並みの安全対策を行うことで、屋外タンクとして国内で唯一、自家用給油所用に設置が可能となり、全国各地で導入が進んでいる。

現在は在日米軍基地以外でも地方自治体の緊急発電用などのタンクに次々に採用されている。最近は南海トラフ巨大地震への対策として注目され、導入を検討しているケースも増えている。今年2月には沖縄県の離島、座間味村（座間味島）に初めて設置された「ガソリン備蓄タンク」も同社のタンクが採用された。住民を対象にしたアンケートでは9割が「燃料供給の不安が解消する。船が長期欠航した場合にも販売制限の解消が期待される」などと回答。観光関係者からは「お客様のビーチ送迎などのサービスが円滑になり、島の良さを宣伝できる」という声もあった。

島袋社長は「オンリーワンの企業としての優位性を活かし、必要とされるより良い製品を提供し、沖縄の発展と雇用の確保に貢献したい」と話している。

離島住民の暮らしを支えている地上タンク（沖縄・座間味村で）

自家発電でEVパッカー車

横浜・国内初

【横浜】複合コンベィコ横浜は先ごろ、国内で初めて電池交換型EVパッカー車（写真）で食品廃棄物の収集・運搬を行うと発表した。

施設内で排出した食品廃棄物をメタン発酵して発電させた電力を、横浜臨港パークへ供給する循環型エコシステムの運用を8月から開始しているが、この電力をEVパッカー車にも使用して、廃棄物のリサイクル率向上を実現していく。

DATAコーナー

■石油先物市場・10／9
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

限月	16：30現在	前日比
ガソリン		
（前日出来高465枚）		
⑪限月	53,760	▲240
⑫限月	52,100	▲300
①限月	50,600	▲450
②限月	50,170	▲370
③限月	49,650	▲570
④限月	49,500	▲500
灯油		
（前日出来高337枚）		
⑪限月	55,870	▲720
⑫限月	55,760	▲410
①限月	55,330	▲370
②限月	54,890	▲410
③限月	54,020	▲400
④限月	52,920	▲370
軽油		
（前日出来高－枚）		
⑪限月	61,600	0
⑫限月	61,300	0
①限月	61,000	0
②限月	60,700	0
③限月	60,400	0
④限月	60,100	0

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

限月	16：30現在	前日比
ガソリン		
（前日出来高2枚）		
⑪限月	54,300	0
⑫限月	54,500	0
①限月	55,300	0
②限月	54,800	0
③限月	51,800	0
④限月	53,300	0
灯油		
（前日出来高－枚）		
⑪限月	58,500	0
⑫限月	58,500	0
①限月	58,000	0
②限月	58,000	0
③限月	61,000	0
④限月	61,000	0
軽油		
⑪限月		
⑫限月		
①限月		
②限月		
③限月		
④限月		

原油指標

		前日比
国内指標	$／B	58.83（▲0.29）
	￥／KL	40,009（▲98）
WTI	$／B	52.63（▲0.12）
	￥／KL	35,792（▲171

■SS店頭市況週動向調査・10／7

レギュラー（単位：￥／L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

北海道	148.2	↑	静岡	148.8	↑	鳥取	145.5	↑
青森	146.2	↑	山梨	150.5	↑	島根	150.9	↑
岩手	144.6	↑	愛知	145.0	↑	山口	144.9	↑
宮城	143.5	↑	三重	147.4	↑	徳島	146.5	↑
福島	149.9	↑	岐阜	147.7	↑	高知	155.5	↑
秋田	149.2	↑	富山	145.3	↑	愛媛	149.4	↑
山形	152.2	↑	石川	144.8	↑	香川	146.4	↑
新潟	145.2	↑	福井	147.6	↑	福岡	149.1	↑
長野	154.4	↑	滋賀	141.2	↑	大分	154.1	↑
群馬	147.2	↑	京都	151.2	↑	佐賀	152.5	↑
栃木	146.4	↑	大阪	146.1	↑	長崎	157.5	↑
茨城	144.9	↑	奈良	145.4	↑	熊本	149.5	↑
千葉	144.7	↑	和歌山	144.6	↑	宮崎	151.8	↑
埼玉	142.5	↑	兵庫	146.4	↑	鹿児島	156.4	↑
東京	148.6	↑	岡山	147.8	↑	沖縄	155.2	↑
神奈川	146.3	↑	広島	146.6	↑	全国	148.1	↑

灯油（店頭）（単位：￥／18L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

北海道	1,671	↑	静岡	1,733	↑	鳥取	1,660	↑
青森	1,579	↑	山梨	1,651	↑	島根	1,748	↑
岩手	1,564	↑	愛知	1,666	↑	山口	1,652	↑
宮城	1,553	↑	三重	1,673	↑	徳島	1,603	↑
福島	1,608	↑	岐阜	1,618	↑	高知	1,745	↑
秋田	1,602	↑	富山	1,695	↑	愛媛	1,682	↑
山形	1,616	↑	石川	1,623	↑	香川	1,599	↑
新潟	1,660	↑	福井	1,677	↑	福岡	1,627	↑
長野	1,620	↑	滋賀	1,725	↑	大分	1,715	↑
群馬	1,657	↑	京都	1,734	↑	佐賀	1,730	↑
栃木	1,641	↑	大阪	1,645	↑	長崎	1,745	↑
茨城	1,578	↑	奈良	1,614	↑	熊本	1,671	↑
千葉	1,641	↑	和歌山	1,634	↑	宮崎	1,764	↑
埼玉	1,643	↑	兵庫	1,662	↑	鹿児島	1,806	↑
東京	1,784	↑	岡山	1,654	↑	沖縄	1,885	↑
神奈川	1,683	↑	広島	1,652	↑	全国	1,665	↑

■国内供給統計（石連週報）・10月第1週末（単位：千KL、%）

	東日本	西日本	合計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	2,208.5	1,061.1	3,269.6	99.1%	94.9%	116.0%
②製油所稼働率	89.9	72.7	83.5	▲0.8	▲4.7	11.5
③石油製品在庫量						
ガソリン	843.0	749.1	1,592.1	106.0%	96.0%	109.7%
灯油	1,862.4	680.6	2,542.9	98.8%	106.8%	97.8%
軽油	745.8	680.0	1,425.7	98.5%	83.9%	94.9%
A重油	432.4	263.9	696.3	100.7%	98.3%	105.8%
6油種計	5,402.4	3,588.2	8,990.6	100.8%	97.6%	97.8%
④製品出荷量推計						
ガソリン	517.1	271.1	788.2	88.9%	89.1%	86.0%
灯油	82.6	49.7	132.3	114.5%	208.1%	47.1%
軽油	422.1	212.2	634.3	91.4%	104.1%	92.8%
A重油	68.5	83.3	151.8	76.2%	71.1%	83.9%
6油種計	1,249.7	652.5	1,902.1	90.2%	93.8%	86.8%

洗車タオル
キャンペーン期間中　11/29まで　お買得価格!!

マイクロファイバーエコ
●汚れの目立たない濃色
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥76
サイズ：約34cm×48cm　カラー：青・赤・緑・チャコールグレー
重さ：約48g　素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※180枚以上は送料込（但し、沖縄は送料別途）

人気No.1　手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち　●吸水性UP▲
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥87
サイズ：約34cm×48cm　重さ：180匁（約56g）
カラー：白・青・ピンク・黄色　素材：綿100%
※180枚以上は送料込（但し、沖縄は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●このボリューム感で低価格！
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥83
サイズ：約40cm×40cm　カラー：青・赤・緑・黄色
重さ：約50g　素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は200枚以上、100枚単位
※200枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥115
サイズ：約40cm×40cm　カラー：白・青・赤・黄色
重さ：約61g　素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は60枚以上、10枚単位
※60枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバー
●抜群の吸水性　すぐれた耐久性
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥86
サイズ：約30cm×48cm　重さ：約38g
カラー：白・青・ピンク・黄色
素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※120枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ：約34cm×48cm　重さ：200匁（約62g）
カラー：白・青・ピンク・緑・黄色　素材：綿100%
※180枚以上は送料込（但し、沖縄は送料別途）

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい
●洗車、窓拭きに最適
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥65
サイズ：約34cm×43cm　重さ：140匁（約44g）
カラー：白・青・ピンク色　素材：綿100%
※180枚以上は送料込（但し、離島は送料別途）

※ご注文単位は1色60枚（高級マイクロファイバー、マイクロファイバースクエアは除く）。

タオル用液体洗剤　18ℓポリ容器　タオルクリーンSS　1箱 ¥6,600　2箱以上（1箱あたり） ¥6,400　税別・送料込　但し沖縄・離島は別途

サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ　03-3593-5841

キューた郎　浜坂高一朗

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

東北

東北支局（仙台市青葉区二日町12-9 宮城県石油会館）
022（225）1967

消費増税

駆け込み需要肩すかし

ポイント還元事業も反応薄く

東北地方では消費増税当日の1日、ほぼすべてのSSが全油種で増税分の転嫁を実行し、波乱なく通過した。一方、元売カード決済客への2%ポイント還元は消費者にあまり浸透しておらず、反応は薄い。増税前の駆け込み需要も盛り上がりに欠け、不発に終わった。

今年、ガソリン市況が乱高下する郡山市周辺と安定的に推移した昇分を順次織り込んだのに対し、福島市のSSが据え置いたため、数円の格差があった福島市周辺とで時に十両市のレギュラー価格が増税当日、セルフ価格中央値で150円と島県。9月下旬の原油価格急騰を受け、郡山市のSSが仕切価格上がり基調だが、大崩れには至っていない。消費者にわかりづらかった「県内格差」が増税を機に一気に解消された形だ。

ほかの5県でもほとんどのSSがガソリン3円、軽油と灯油2円の値上げを実行し、波乱はなかった。

一方、同時に始まったカード決済などを対象にしたポイント還元については「給油客から反応がない」と話すSSが多い。「制度が複雑でわかりづらいこともあるが、元売を含め我々側の事前PRが不足していたのかもしれない」と反省の声も聞かれた。

増税直前の駆け込み需要については「5%から8%に上がった2014年は前日に深夜まで給油客の車列ができたが、今回はわずかに給油が増えた程度」（宮城県北のSS）という。タイヤなどの油外商品も「一部の運送会社が冬用タイヤをまとめ買いしたくらいで、目立った動きはなかった」（青森市のSS）と拍子抜けの結果に終わった。

店頭に消費増税の告知ポスターを貼るSS経営者

石連と会津若松市長訪問

満タン 協力 石油機器導入を要請

福島

福島石商（西形健吉理事長）と石油連盟は先ごろ、新庁舎建設計画を進める会津若松市の室井照平市長を訪ね、新庁舎への石油機器導入を働きかけるとともに、『満タン&灯油プラス1缶運動』への協力を呼びかけた。同石商から中村謙信会津若松支部長と小林勝専務理事、石連石油システム推進室から田中英樹室長と難波隆マネージャーが出席。中村支部長があいさつの中で「災害による大規模停電が相次ぎ、石油など分散型エネルギーが一層重要になっている」と述べた。

石連からは、主力の空調冷暖房設備としての灯油焚き冷温水機を導入し、非常用発電機の備蓄灯油を平時から使い回すことで劣化を防ぐ工夫をした福島県須賀川市や山形県尾花沢市の新庁舎の事例を紹介。尾花沢市庁舎建設時のエネルギーコスト検討資料を参考に「導入費は灯油式がエアコンより高いが、ランニングコストが電気よりかなり安く短期間で元が取れ、明らかに割安だ」と指摘したほか、CO_2排出の面でも電気より少ないことを説明した。

新庁舎建設事業はこれから基本設計に入る段階。一行は室井市長の要請を受け、市庁舎整備室の佐藤浩室長も訪ね、電気に比べた石油機器の優位性を詳しく説明した。

室井市長との面談では、小林専務が福島から全国に広がった『満タン運動』の趣旨を説明し、協力を要請した。

満タン運動のステッカーを携え記念撮影する（前列右から）田中室長、室井市長、中村支部長、小林専務理事

秋田県文化功労者へ

西村理事長選出

秋田県

秋田県は2019年の県文化功労者に秋田石商・協理事長西村紀一郎氏（写真）ら7人を選んだと、このほど発表した。表彰式は28日、県庁で行われる。

秋田県文化功労者表彰は、同県の文化発展に功績のあった個人や団体を顕彰しようと1956年に始まった。西村氏の表彰理由について、県は「石油製品販売業界をはじめ地域経済の振興、発展に長年貢献した。特に県石油商業組合理事長として、過疎の豪雪地で高齢者世帯を守る拠点となっているSSの維持を支援した」としている。

青森 初の災害時対応実地訓練

初動対応留意点学ぶ

青森石商・協（大坂功理事長）は先ごろ、初の災害時対応実地訓練を青森市で行い、組合員SSの経営者や幹部社員ら19人が初動対応の留意点を学んだ。

大一通商（コスモ系）の協力を得て、同社青森東バイパスSSの営業を1時間余りにわたり停止して実施。同社の近藤政美取締役石油部長が「全国で様々な災害が頻発しており、非常時に地元の役に立てるよう、1つでも良いから訓練の成果を自社に持ち帰ってほしい」とあいさつしスタートした。

実地訓練は直下型地震で停電が発生した想定。小型発電機のエンジンを始動した後、電源を非常時系に切り替え、水中ポンプで地下タンクの検水口を開けて水の混入がないことを確認、消防車に実際に軽油を給油した。

発電機の始動訓練は女性2人も体験。力不足でなかなかエンジンがかからなかったが、苦労しながら何度も挑戦して始動させていた。実地訓練終了後の座学では、講師の指導で初期対応の留意点を学んだ。

発電機の始動に取り組む女性参加者

気仙沼に全農直営SS開業

増税日は138円表示

全農エネルギーの直営SS「JASS－PORT（ジャスポート）気仙沼」が先ごろ、気仙沼市岩月で開業した。9月中のオープンセールではレギュラー価格129円で売り出し周辺SSを驚かせたが、増税日には138円に値上げした。気仙沼市内では12日にオカモトの新店も開業予定で、価格競争の激化が心配されている。

JASS－PORT気仙沼は南三陸農協が気仙沼市階上で運営していた階上SSの後継店。全農エネルギー東北が同農協のSS事業を引き取り、場所を移して開業した。宮城県内の全農直営SSは3月に開業した「JASS－PORT南三陸」（南三陸町）に続いて2店目。

不正軽油の撲滅 埼スタで啓発

埼玉不正軽油対策協

埼玉石商（内藤英一理事長）や車関係団体、行政機関で構成する県不正軽油撲滅対策協議会は先ごろ、さいたま市内の埼玉スタジアムで不正軽油撲滅を訴え、啓発活動を行った（写真）。

県税務課職員が、情報提供を呼びかけるチラシやポケットティッシュをサッカー観戦客に配った。担当者は「PRを通じ情報を呼びかけ、撲滅につなげたい」と話していた。

国体出場6社員 壮行会で激励

茨城・関彰商事

関彰商事（筑西市、つくば市、関正樹社長・JXTG系）は先ごろ、今月8日まで開催された『いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会』に同社社員6人が出場することを受け、つくば市内のホテルで壮行会を開いた。

出場者は魚里勇介（陸上・5回目）、豊島舞子（女子サッカー・11回目）、佐久間香名（弓道・初）、佐藤優子（セーリング・8回目）、池田博（陸上・4回目）、德武恭浩（フライングディスク・2回目）の6選手。

関社長は「今回の大会は地元茨城で45年ぶりの開催。出場する選手の方々にご活躍いただきたい。私も茨城県の副団長として参加するので、選手の皆様へ応援をお願いしたい」と呼びかけ、出場選手らにエールを送った。

活躍を誓った選手6人と関社長（写真右）

社業の歩み綴る 「150年史」完成

長野・豊島屋

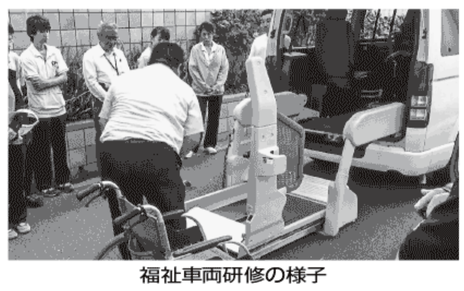
豊島屋（本社・長野県岡谷市、林新一郎社長・JXTG系）の社史「豊島屋一五〇年史」（写真）が先ごろ、完成した。1867（慶応3）年に初代林新一郎が創業し、生糸販売を開始。その後、しょうゆやみそ、清酒の醸造、石油販売と商売を拡大した。新一郎現社長は5代目。貴重な写真やエピソードも満載で、豊島屋の歴史を通じて慶応から平成を振り返ることができる。

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
03（3593）5757

注目される福祉車両メンテ

少子高齢化視野に 地域ニーズ対応


福祉車両研修の様子

全国総合福祉車両協議会の会員になるほか、安西部長は福祉車両整備士や車いす安全アドバイザーの資格を取得。福祉施設で介護職員に研修をしたり、地域の社会福祉協議会の福祉祭りなどでは一般の方向けに、車いす介助実習を行っている。「電動車いすは、歩行者と接触事故を起こす危険性があるので、個人賠償保険の加入を勧めている」と有資格者として適切なアドバイスを心がけている。

取り扱う福祉用品は車いすのほか、手すり、スロープ、移動用リフト、歩行器、介護ベッドなどのレンタル、腰掛便座、入浴補助用具、づくりに注力。車検センターに車両整備と車いす整備ができるスタッフがそれぞれ2人いる。またSSでも障害者対応ができるようにした人が使っている。また、認知症の妻は車酔いしやすく、嘔吐した時は車室クリーニングサービスが役立ち、福祉施設に給油カードを発行するなど既存事業との相乗効果も発揮しているようだ。

福祉事業を通して終活の相談を受けることもあるという。「高齢化社会に向けて地域の力になれるように、今後も活動の幅を広げていきたい」と安西部長は次のステップに向けて意欲をみなぎらせている。

千葉・千葉石油 サービス領域さらに拡大

新たな油外収益を確立するため千葉石油（本社・千葉県茂原市、安藤順夫社長・出光昭シ系）は、福祉車両および福祉用品の販売・買い取り・レンタル・メンテナンスなど福祉事業に注力している。

千葉市内にある自社の指定整備工場の稼働が土日に集中していたため、平日の仕事を増やす目的で5年前から事業をスタート。「福祉車両のセミナーに参加したことがきっかけ。メンテナンスをでできるところが少ない、できても代車の用意がなくレンタカーを借りる必要がある、購入時の納車待ち期間が長いなど、福祉車両は多くの課題を抱えていることがわかった」と話す同社の安西則昭取締役部長は「社会貢献もできる事業」と導入を決めた理由を振り返る。

現在、スタッフは3人体制、代車は4台を所有。福祉施設や病院などを対象にサービスを提供している。保守契約を結んでいる車両は300台。さらに福祉関連会社の100台と契約する予定があり、代車を1台増やす準備をしている。

安西部長

河村課長（左）と川田工場長

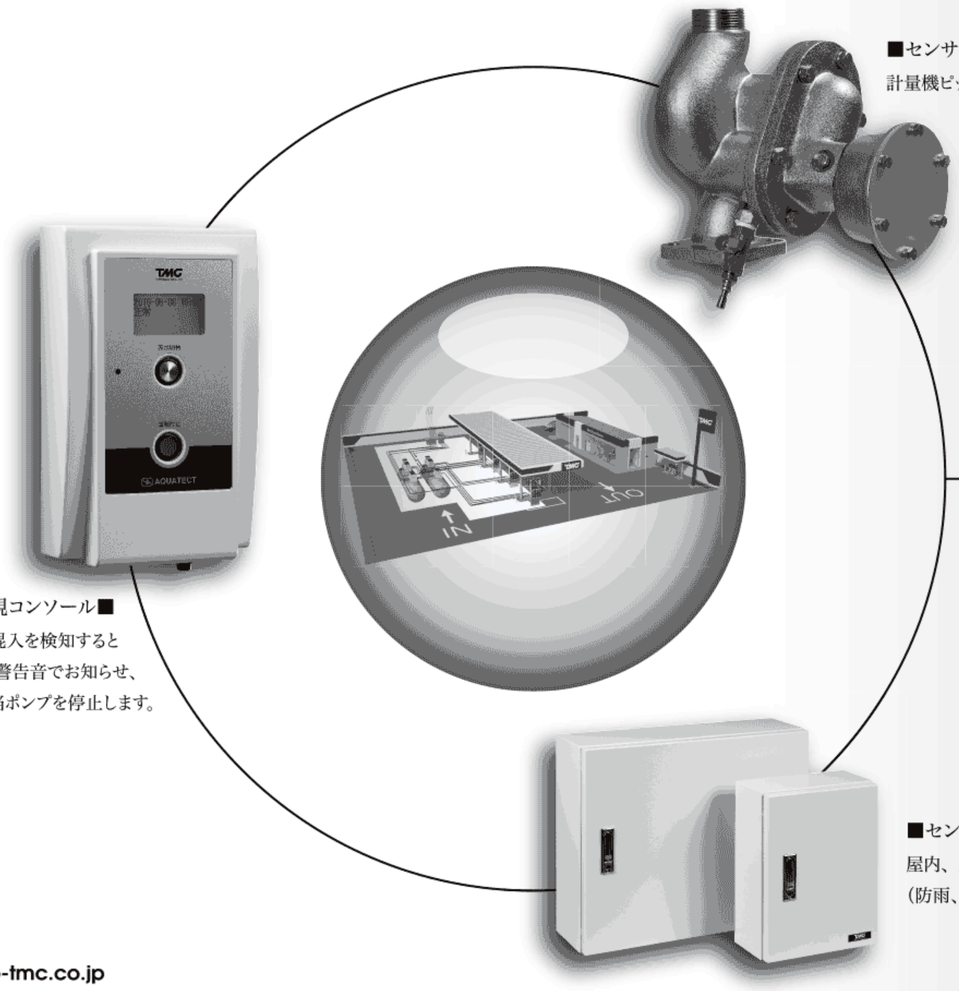
群馬・赤尾商事 車いすの販売・整備も

女性・お年寄りに優しい店づくりを目指す赤尾商事（本社・高崎市、赤尾佳子社長・出光昭シ系）は、福祉事業を始めて2年目を迎えた。

現在提供しているサービスは、福祉車両と車いすの新車・中古車販売、整備・メンテナンスなど。全国総合福祉車両協議会にも加盟し、「同業の先輩方から貴重なアドバイスをもらっている」とカーライフ部の河村友幸事業開発課長はネットワークづくりと情報収集が大切と話す。車検センターアカオの川田元輝工場長は、「店内にできるスタッフがそれぞれ2人いる。またSSでも障害者対応ができるようにした人が使っている。

TMG TOMINAGA MFG CO

“燃料供給システム”の明日に取組む



New!!

アクアテクトシステム

AQUATECT SYSTEM

配管内のセンサーが燃料の状態を常時監視し、水を検知すると自動で給油をSTOP!
あなたの給油所を水混入事故から守ります。

業界初「配管水検知システム」新発売！

http://www.kyoto-tmc.co.jp

株式会社富永製作所　〒604-8493　京都府京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部　☎(075)801-8139代表　FAX(075)801-1373
〒156-0055　東京都世田谷区船橋4-36-13　東京営業部　☎(03)3484-5051　FAX(03)3484-3944
仙台営業所　☎(022)287-9311　名古屋支店　☎(052)414-1181　関西支店　☎(0774)41-3443　広島支店　☎(082)283-2428　高松支店　☎(087)843-7130　福岡支店　☎(092)651-3168　沖縄支店　☎(098)886-1811
事業所・代理店/全国主要39都市

トレンドファイル

ZENSEKI

車検甲子園で技術向上
喜ばれるサービス提供へ
コバック

大手車検チェーンのコバック（小林憲司社長）は先ごろ、「車検地域ナンバーワンの実現」を目的に江東区の東京ビッグサイトで「第3回車検甲子園」を開催した。この大会を通じて、全国のスタッフが常に目標と誇りを持ち高いモチベーションで働ける環境を作り、お客様に喜ばれるサービスの提供を目指している。

競技は、対面ロールプレイング形式の「車検予約受付」と「現車プレゼンテーション」、実技形式の「24ヵ月点検」の3つ。車検予約受付は要望を的確に把握し、コバックが考える安全・経済性・環境に基づく車検メニューを提案するスキルを、現車プレゼンテーションはニーズを正しく読み取り的確な提案をすることで、より多くの商品を受注できるかどうかを、24ヵ月点検は2人1組で作業の確認呼称やスピード、確実な点検状況を競う。

当日は全国の各エリア・ブロックを勝ち抜いた各競技13組・全52人の代表選手が日ごろの業務で培った技術と知識を競い合った。代表選手のうち13人と女性スタッフの活躍が目立つ大会となった。

小林社長は「予選を勝ち抜いた皆さんは日本を代表する技術と理念の持ち主。この大会をきっかけにさらに飛躍してほしい」と選手達にエールを送った。

車検予約受付競技で説明する女性選手

現車プレゼンテーション競技の様子

自動運転開発に注力
全商用車EV化を目指す
三菱ふそう

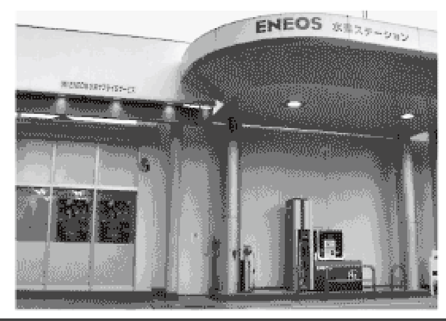
三菱ふそうトラック・バスはこのほど、都内で「大型トラックにおける自動運転技術の現在と将来」と題したシンポジウムを開催し、「電動化」「コネクティビティ（接続性）」「自動走行」の3つに注力した取り組みについて発表した。

冒頭のあいさつでダイムラー・トラックのアジア代表を務めるハートムット・シック社長（写真）は、「全商用車のEV化を目指す」と話したうえで、「コネクティビティと自動運転は、ドライバー不足を解消し、より早く・正確な物流を実現できる」と強調した。今年の東京モーターショーでレベル2（部分自動運転）の車両を出展し、今後はレベル4（高度自動運転）を目指して開発を進めていく。

また、国土交通省の平澤崇裕自動運転戦略室長や自動運転の専門家、同社開発担当を交えたパネルディスカッションが行われ、「自動運転が都市づくりにも大きな影響を与える」「万が一の事故のために法律や保険で安心面をカバーし、一般市民の信頼を得ることが大事」などの話が展開された。

神奈川県で初のFCバス水素供給
JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、横浜市が公共交通の低炭素化を目指して導入する燃料電池（FC）バスへの水素供給事業者に決定したと発表した。同市は神奈川県で初めて市営バスにFCバス1台を試験導入し、みなとみらい地区などで運行する計画。同社は横浜南水素ステーション（写真）に、FCバスにも対応できる水素充填システムを整備し、2日の運行開始に併せて水素供給を開始した。



多様な皮革に対応が可能
リペアケア商品「カラーロック」
カーメイクアートプロ

カーメイクアートプロ（大阪府堺市・丸山義昭社長）は、車のレザーシートやソファー、バッグなどレザー製品のケア商材の販売をしている。

同社はドイツのレザーゼントラム社「カラーロック」ブランドの日本総代理店。カラーロックは、様々な皮革製品に対応するリペア材やケア用品・クリーニング材を取り扱っており、自動車用はメルセデスベンツやロールスロイス、ランボルギーニなどの自動車メーカーにOEMで供給している。

レザーは多数の種類があるため、それぞれの素材や仕上げに合わせた「レザークリーナー」をラインナップし、レザー表面にこびりついた汚れを効果的に除去する。色落ちや色あせでくすんだり、小さなキズなどは素材そのものが変質・損傷しているためクリーニングだけではキレイにならない。「レザー簡易リペア」でクリーニング後に簡単な工程でレザー塗装皮膜を再生させる。46色あり調色も可能なため、多くのカラーに対応が可能。レザー簡易リペアで修復できないタバコによる焦げやひび割れなど大幅な損傷・劣化は「レザー本格リペア」で再生させることができる。

同社では製品の卸・販売やリペア技術講習のほか、ドイツ本国への研修ツアーも行っている（問い合わせ：電話＝072－369－3456）。

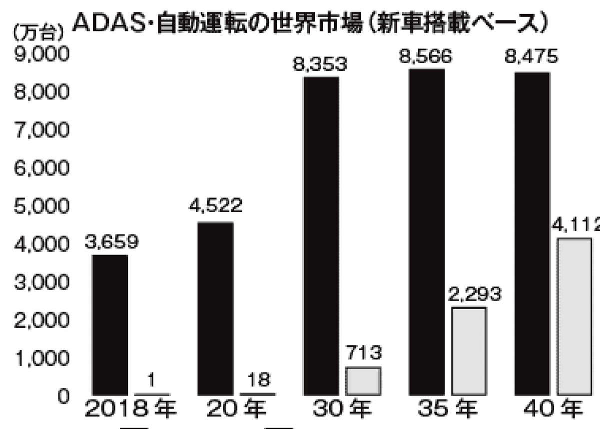
東京ビッグサイト開催のクリーンビジネスフォーラムで製品を紹介

40年自動運転車29％
富士キメラ

富士キメラ総研は先ごろ、「CASE（コネクテッド・自動運転・シェアリング&サービス・電動化）関連技術の世界市場」の調査結果を発表した。

センシングデバイス（＝モノや人の状態を検知する技術・装置）で検知・警告・制御をするADAS車は、新車搭載ベースで2018年の3659万台から30年には2・3倍の8353万台（グラフ）に、レベル3～5の自動運転車（限定条件下または無条件下で自動走行が可能）は、18年の1万台から30年には713万台、40年には4112万台になると見通した。

ADASは各国で搭載義務化が進み、近年搭載率が上昇しつつある。自動運転は、17年にレベル3が初めて量産車に搭載され、18年に1万台となった。30年以降レベル4が普及していくと予測し、40年にレベル3～5の自動運転の新車搭載率は29・4％になるとみている。



9月市況概況

ZENSEKI

9月の原油価格は2ヵ月ぶりに反発した。それに伴い、ガソリン卸は陸上スポットも値上がりに転じ、系列仕切りも4ヵ月ぶりに上昇した。ガソリン小売粗利（全国平均値）は前月比で1・2円縮小。また、いわゆる業転格差は3・3円に縮小した。

卸　原油2ヵ月ぶり上昇
系列、スポット値上がり

国内卸価格のベースとなる中東産原油（FOB）の9月価格平均値（ドル換算）は前月比1・7円高の41・8円水準で、2ヵ月ぶりに値上がりとなった。

週決めフォーミュラ連動ベース推計のうち、ガソリン陸上スポット指標（京浜仕様・近距離ケース）は113・7円（前月比0・5円高）に値上がり、東京バージ先物も111・8円（2・3円高）に反発した。この結果、格差は先物価格の1・9円安に縮小し、12ヵ月連続で現物高・先物安が続いている。

中間三品の陸上スポット指標は、灯油が61・8円（0・7円高）と値上がったが、軽油は61・2円（0・3円安）、A重油は60・0円（0・2円安）といずれも値下がった。

輸入はガソリン推計値が107・6円（2・4円高）と2ヵ月ぶりに反発。同様に中間三品も灯油58・8円（2・5円高）、軽油58・1円（2・3円高）と値上がった。

系列仕切りもガソリン・灯油・軽油とも4ヵ月ぶりに上昇。いずれも前月比（推計値）でJXTG、出光昭シが0・3円高、コスモが0・2円高だった。

東京商品取引所の9月納会価格は、東京バージでガソリンは112・3円（5・4円高）、灯油は58・5円（3・3円高）となった。また、中京ローリーもガソリンが112・8円（4・9円高）、灯油が60・9円（3・7円高）となり、いずれも値上がった。

JXTG基準仕切りから推計した9月のノンブランド玉月平均は112・1円の水準で0・3円高。

ガソリンについて資源エネルギー庁発表の卸価格調査全国平均を一般的な特約店仕切りの平均値とし、そこからスポット指標の平均値（配送料1・5円加算）を引いた、いわゆる業転格差は推計3・3円となった。

G業転格差推計3.3円
全県で粗利が縮小へ

小売　4ヵ月連続で下落
中部エリアのマージン低迷

資源エネルギー庁調査によるレギュラーガソリン小売市況9月の全国平均は、前月比0・9円安の143・7円となり、4ヵ月続けて下落した。最低価格も1・4円安の137・6円と続落。一方で安値SS代表格のジョイフル本田は4・0円高の130・0円に値上がりした。

ガソリン小売粗利推計は、全国平均で前月比1・2円安の17・0円となり、すべての都道府県で粗利が縮小した。前年比では平均3・4円の良化。4～9月の上半期平均粗利は16・5円で、前年同期比より2・5円増となった。

地域別だと、中部エリアの平均マージンが15・0円と最も低い。都道府県別だと茨城、滋賀の2県が11・8円と低水準で推移している。

マージン推計値で見ると10府県で20円以上となったほか、全都道府県で5ヵ月連続2桁マージンを保っている。ただし粗利推計幅の算定基準としているエネ庁小売市況調査はフルSSも対象に含まれるため、セルフの多い激戦地の実勢値はもっと低マージンの可能性がある。

軽油の小売全国平均は前月比0・8円安の125・0円と値下がりした。粗利推計は前月比1・1円安、前年比4・7円高の21・3円。また、灯油店頭（㍑あたり）の小売全国平均は前月比0・5円安の90・2円。粗利推計は前月比0・8円安、前年比7・7円高の18・9円となった。

都道府県別小売粗利の推移(9月)

	ガソリン			灯油			軽油		
	粗利	前月比	前年比	粗利	前月比	前年比	粗利	前月比	前年比
北海道	15.7	▲0.1	2.5	20.8	▲0.5	6.9	22.1	▲0.1	1.9
青森	14.0	▲0.9	3.8	13.6	▲0.7	6.2	19.0	▲0.8	3.1
岩手	13.6	▲1.3	2.5	13.6	▲0.7	7.1	16.9	▲1.2	2.4
宮城	12.6	▲1.3	0.3	14.6	▲0.5	6.5	16.9	▲1.2	1.0
秋田	18.1	▲1.1	6.2	15.2	▲0.7	6.4	24.1	▲1.9	9.1
山形	20.2	▲0.7	4.7	16.1	▲0.9	5.5	26.9	▲0.5	6.3
福島	18.4	▲0.5	3.2	16.2	▲0.3	8.2	21.7	▲0.7	2.8
茨城	11.8	▲1.5	1.3	13.5	▲1.4	6.3	15.1	▲1.6	4.6
栃木	13.9	▲1.4	2.4	17.4	▲0.7	7.5	18.6	▲0.7	4.3
群馬	13.8	▲1.0	2.4	17.0	▲0.2	7.5	18.7	▲1.2	3.9
埼玉	12.5	▲1.3	2.8	18.1	▲0.7	9.0	16.6	▲1.1	5.1
千葉	14.8	▲0.5	3.3	19.4	▲0.7	8.1	18.6	▲0.9	5.2
東京	18.5	▲0.5	4.1	26.5	▲0.9	10.0	22.4	▲0.5	4.5
神奈川	15.6	▲0.4	3.3	20.8	▲0.8	9.6	19.1	▲0.4	4.8
新潟	14.0	▲1.6	2.6	17.7	▲1.0	6.0	22.2	▲1.2	5.4
長野	21.8	▲1.4	6.5	15.1	▲0.8	6.7	24.4	▲1.2	6.2
山梨	18.6	▲1.1	5.2	17.5	▲0.7	8.4	20.4	▲0.9	7.4
静岡	16.4	▲1.3	2.4	21.1	▲0.6	8.5	20.4	▲1.4	3.3
愛知	14.6	▲1.0	1.6	20.2	▲0.5	9.8	19.4	▲0.8	0.9
岐阜	16.9	▲1.6	2.4	16.5	▲1.0	7.3	20.2	▲1.4	1.9
三重	17.2	▲0.7	3.5	19.7	▲0.9	7.1	22.8	▲0.7	3.8
富山	13.9	▲0.8	▲0.0	19.8	▲1.0	6.5	20.0	▲0.8	1.3
石川	12.4	▲0.9	2.7	15.2	▲0.7	6.7	18.5	▲0.9	5.7
福井	15.7	▲1.6	1.7	16.7	▲1.1	4.1	20.3	▲1.2	3.9
滋賀	11.8	▲1.6	▲0.9	23.1	▲0.4	13.7	15.4	▲1.1	3.6
京都	20.5	▲1.3	4.1	22.8	▲0.6	10.0	23.1	▲1.4	4.9
奈良	15.7	▲1.2	3.9	17.5	▲1.0	9.5	18.8	▲1.1	5.1
大阪	15.5	▲1.2	1.3	19.0	▲0.5	9.8	19.4	▲1.2	4.2
兵庫	16.2	▲1.8	3.4	19.5	▲0.9	10.0	19.7	▲1.3	5.3
和歌山	14.6	▲1.3	3.4	18.1	▲0.8	9.0	17.8	▲1.1	6.3
鳥取	13.3	▲1.7	2.3	16.5	▲1.5	1.6	21.1	▲1.5	2.1
島根	18.5	▲1.5	3.1	22.1	▲0.9	5.8	25.1	▲1.2	4.8
岡山	17.1	▲1.1	4.3	19.1	▲0.7	9.1	21.4	▲1.1	4.1
広島	15.8	▲1.8	3.2	18.2	▲0.9	6.5	21.1	▲1.4	4.0
山口	14.9	▲1.3	0.9	18.1	▲1.4	4.2	21.0	▲1.3	2.6
徳島	16.2	▲0.8	7.3	15.8	▲0.7	7.2	20.3	▲0.8	8.7
香川	17.1	▲0.9	4.5	16.4	▲0.3	8.3	18.8	▲1.0	6.8
愛媛	18.4	▲2.0	2.9	18.8	▲1.7	6.5	20.6	▲2.1	2.3
高知	24.2	▲0.7	9.8	22.9	▲0.9	11.6	27.2	▲0.8	8.4
福岡	18.8	▲1.5	3.9	17.4	▲0.7	7.0	20.6	▲1.3	5.4
佐賀	20.0	▲2.1	3.8	20.4	▲1.2	5.3	23.3	▲1.8	3.8
長崎	21.0	▲2.0	4.7	19.9	▲1.5	8.3	25.3	▲1.4	2.9
熊本	19.4	▲0.9	5.6	19.1	▲0.6	8.8	20.6	▲0.6	7.1
大分	24.4	▲1.5	4.4	22.2	▲0.7	8.1	25.7	▲1.5	4.8
宮崎	21.2	▲0.5	7.0	23.8	▲0.4	8.1	25.0	▲0.3	7.9
鹿児島	25.1	▲1.2	6.4	25.4	▲1.0	6.5	29.5	▲1.1	5.9
沖縄	21.7	▲1.6	3.7	31.3	▲0.7	6.5	22.2	▲1.8	3.8
全国	17.0	▲1.2	3.4	18.9	▲0.8	7.7	21.3	▲1.1	4.7

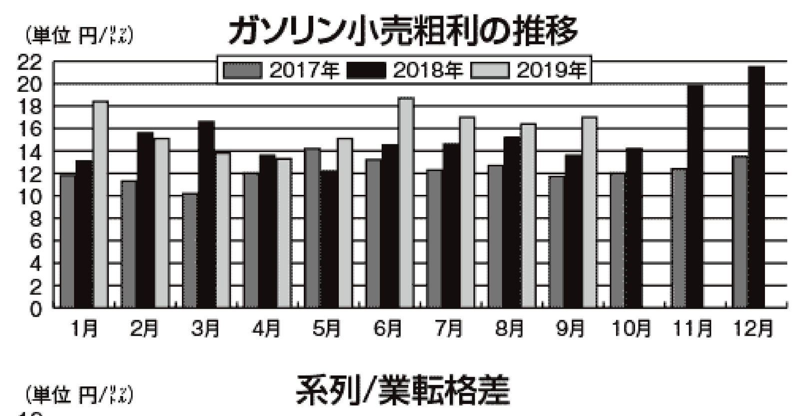
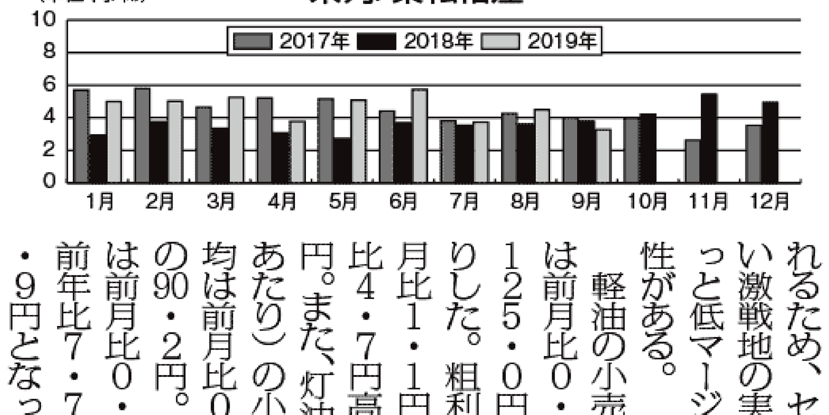
※小売粗利推計:エネ庁公表週市況月平均値－同月卸価格（本紙推計）

週決め仕切りコスト・月間推計値（近距離ケースSS届け、消費税別：円/㍑）

	ガソリン		灯油		軽油		A重油
	現物推計	TOCOM	現物推計	TOCOM	現物推計	TOCOM	現物推計
6月	115.3	111.2	63.8	58.8	64.0	65.3	63.3
7月	115.6	113.1	63.6	61.3	63.5	65.8	62.3
8月	113.2	109.5	61.1	58.3	61.5	64.2	60.2
9月	113.7	111.8	61.8	61.0	61.2	63.8	60.0
10月最近値	116.3	110.6	64.5	60.7	63.7	66.1	62.2

※現物推計は陸上現物ベースの計算値

原油・ガソリン系列仕切り変動幅の推移(前月比)　円/㍑

	原油	JXTG	出光昭シ	コスモ
5月	▲1.4	1.0	1.0	1.2
6月	▲6.5	▲5.7	▲5.7	▲5.6
7月	1.2	▲0.2	▲0.6	▲0.4
8月	▲3.5	▲2.3	▲2.1	▲2.3
9月	1.7	0.3	0.3	0.2

※ JXTG、出光昭和シェルは推計値、原油は中東産原油（円建て）